



石原橋下の釣人 Fishing under the Ishihara bridge ...

© photo by Isao Yoshida

“ロータリーを实践し みんなに豊かな人生を”

RI会長
ロンD.バートン
2570地区ガバナー
中井眞一郎

継続 変革 簡素 充実

第 2555 例会 2013.8.7

—— 会員増強および拡大月間 ——

天候 晴 (NO. 50-06)

会長 吉田武明 幹事 山岸敬司

例会日 水曜日(12:30~13:30) 当番 安藤君、新井君

例会場：マロウドイン飯能 〒357-0021 飯能市双柳105-8
☎(042)974-4000

事務局：飯能商工会議所内 〒357-0032 飯能市本町1-7
☎(042)974-3111(代) FAX (042)973-1662
http://www.hanno-rc.org/ E-mail: hannorc@hanno.jp

- ・点鐘 吉田武明会長
- ・ソング 君が代 奉仕の理想
- ・四つのテスト斉唱 小川職業奉仕委員
- ・卓話 高麗文康様

【会長報告】

本日、理事会を開催。地区より「ロータリー希望の風奨学金プログラム現況報告」(『ロータリーの友』8月号)を必読されたいとの指示。「1300年前」、大化の改新が施行された後に高麗様の一族が渡来されたとの事。歴史と重みのある卓話、楽しみにして頂きたい。

【幹事報告】

- ・9月プログラム承認。青少年育成飯能市民会議、飯能保育所及び園保護者会連合会、各寄付金1万円、西川材フェア、飯能納涼花火大会、各協賛金1万円、承認。事務局の板書をマグネットシートに変更(馬場会員に依頼)、FAX交換(NTTに注文)、承認。大木会員より休会届(10月末日まで)。
- ・講師、高麗文康様の著書『陽光の剣 高麗王若光物語』を20冊お持ちしています。

【委員会報告】

- ◎国際奉仕委員会 市川(洋)君
8/10(土)まるひろ7F「日本語スピーチコンテスト」にマイ君が出場、クラブで協賛しておりますので是非聴いて頂きたい。
- ◎会員増強委員会 中里(忠)君
今月は「会員増強月間」です。皆様からの情報提供をよろしくお願い申し上げます。

◎親睦活動委員会 吉田(行)君
8/28「夜間例会」南口17時集合。47名の参加予定。横笛の野外コンサートを準備中。

【出席報告】無断欠席・MUなし 塩野出席委員長

会員数		当日		前々回修正 出席率
全数	対象	出席数	出席率	
57名	6名	53名	92.59%	92.73%

【SAA報告】

◎ニコニコBOX

- ・高麗宮司・高麗文康様、本日は卓話有難うございます。よろしくお願い致します。吉田(武)君、山岸君、山川君、間邊君、小谷野君、中里(昌)君、細田(伴)君、市川(洋)君、神田(敬)君、服部君、吉田(行)君、小久保君
 - ・高麗様、先日の伊勢神宮、お白石持ちではお世話になりました。 神田(敬)君
 - ・早退 田辺君、大野君
- 本日計 14,000円、累計額 119,000円。

◎21日例会当番は雨間、馬場会員です。

【卓話】

講師紹介 和泉プログラム委員
約1300年前、奈良に新しい都が出来ました。時期を同じく飯能・日高に高麗郡が建郡。高麗様は1966年生まれ、高麗王若光を開祖とする高麗家60代当主。2016年に向け地域活性化、国際交流と共に民間の方々もたくさん応援されています。「高麗郷's」「高麗郡建郡1300年記念事業委員会」「高麗郡建郡1300年記念日高市実行委員会」(会長:谷ヶ崎市長)等。

渡来から未来へ

～高麗郡建郡1300年を前に～

高麗神社宮司 高麗文康様

〔プロジェクト使用〕日頃からお世話になっております。國學院大の先輩、小久保様の叙勲は私にとっても励みになりました。

他市の方は「高麗」＝「日高」とお考えかと思いますが、日高では「高麗」と通称される地域(かつての高麗村)をイメージします。今日はそういう地域のお話ではありません。「高麗郡」は廃止される1896年以前は、日高、飯能、鶴ヶ島、入間、狭山、川越の一部または全域を含む地域で、成立は「靈龜2年(716年)5月」と、大和朝廷が作った史書『続日本紀』に記されています。東国7国から1799人の「高麗人(こまひと)」が集まり「高麗郡(こまのこおり)」が置かれた。初期の高麗郡は小さく、飯能、日高の市域内に収まります。建郡当初の大規模な張摩久保遺跡が飯能(平松)に残っています。飯能と日高では遺跡の具合が良く似ており、縄文遺跡は多いが弥生、古墳時代の遺跡が無い。稲作に適さない地域で人が減る現象があり、有力な支配者も居なかった。縄文期はある程度住みよい地域だったが、食や生活形態が変わって未開の地域になっていったというのが共通した遺跡状況。改めて開発されるのが8世紀初め(710年から奈良時代)、高麗丘陵を南北に流れる小畔川を中心に人が住み始めた。王神遺跡では竪穴が四角になってくる。柱の数の多い、小さめの倉庫は、郡の役所に納める前に食糧を備蓄するために使用したのではないか。飯能では常陸国で作った須恵器が出土。発掘の成果と文献が一致しています。

日本で「高麗」と呼ばれた「高句麗」は、最も強勢だった時代に、北は満州、南は韓国の一部までが領域でした。中国域で興り、勢力を増すと共に南下して拡大。高句麗遺跡はユネスコ世界遺産に指定されています。

585年、日本で最初の仏教寺院・飛鳥寺が建立された時、高句麗の王は黄金を寄進し、僧・慧慈を派遣。百済は慧聡を派遣した。背景には緊迫した状況がありました。高句麗の南下で圧迫されていた百済は日本に活路を求めて、日本に無い進んだ知恵・仏教を日本に送る(537年、百済より仏教伝来)。高句麗は北に隋が興り500年末に日本に僧を送る。これらは1つの国家戦略で、日本からすれば文化的な、有難い使者ですが、実利を求める関係性がそこにあった。この関係性は高句麗や百済が滅びるまで続いていくという事になります。

640年代、朝鮮半島と日本は動乱期。これは唐という大きな帝国が成立した事により東アジアの動乱が始まったという事です。『日本書紀』には朝鮮半島の記事が沢山出て来ます。日本の歴史を記述する上で朝鮮半島情勢は間違いなく必要でした。高句麗滅亡の記事は極



めて正確、詳細に記されています。640年代、百済からは王族が日本に送られてきますが、子孫は百済王氏という氏族となっています。高句麗は666年に2回、668年に1回、使節を送っています。その年に自国が滅びたわけですから、その2か月位前まで一生懸命使節を送って生き残る方策を探していたという事になります。666年の2回目の使節の一員に、私の先祖、若光が居たということです。滅んでしまったため、そのまま大和朝廷に仕える事になり、後に、高麗郡をつくる時に、郡の長官として武蔵国に派遣されて来たという事になります。

「渡来から未来へ」というのは現在、私共が作っている「高麗郡建郡1300年記念事業委員会」のスローガンです。過去から未来へ向かって地域づくりをしていきたいと思いますというイメージです。初代会長・丹下敏男氏に大変ご苦勞を頂いて発足し、6月には大野松茂先生にバトンタッチされました。民間の会で、旧高麗郡域を中心とした広域の地域づくりを目指しています。飯能は重要な地元です。この地域から世界に向けて平和や友好のメッセージを発信していくのが夢です。

高麗家住宅前で毎年開催している「高麗鍋コンテスト」は今年で5回目。女性が着ているのは、高句麗の古墳壁画にある服装を再現したものです。壁画には楽器を弾く姿や騎馬で弓を射る姿等、高句麗人の生活ぶりが生き生きと描かれています。その中の舞踊図をモチーフに今年「高麗美舞体操」をつくりました。健康体操としての普及活動をしています。「馬射戯」は短い弓を使って“やぶさめ”をするもの。かつて高句麗人が行っていた文化であるという事を動機に、この地域に新しい文化を作っていこうという試みです。

歴史を基礎に据えた地域づくりの検証をするため9/8「高麗浪漫学会」を立ち上げます。11/30シンポジウムを開催。是非ご参加頂き、また、会員になって頂きたいと思います。

「高麗郡」をキーワードに、広域の地域づくりに取り組んでおります。是非一緒に活動して頂けたらと思います。

平成25年9月のプログラム (月間テーマ 新世代のための月間)

月 日	例会数	行 事 予 定	当 番 [担当委員会]
9. 4	2,559	卓話「未来に遺したい“飯能”とは」 グループディスカッション 青少年奉仕委員会	細田(伸)君 橋本君 [青少年奉仕]
9.11	2,560	「イニシエーション・スピーチ」 福島毅、伊澤健司、本橋勝会員	平沼君 半田君 [プログラム]
9.18	2,561	卓話「東日本大震災における救助活動に参加して」 立ち上がり飯能プロジェクトチーム代表 タイムス飯能店店長 武田好成氏	服部君 細田(尚)君 [社会奉仕]
9.25	2,562	ガバナー補佐訪問	石井君 市川(洋)君 [会長・幹事]

※次週の例会案内は省略。